

令和8年度 基本方針

課名	健康福祉課		
職・作成者	課長	伴内	正美
	課長補佐	宮本	有香
	課長補佐	山田	将也

1. 本年度の目標

- 1 地域包括ケア体制の強化**
- 2 障がい者支援の充実**
- 3 地域共生社会の実現に向けた取り組みの推進**
- 4 SWC施策の維持・発展及び健康増進の充実**
- 5 事務の効率化及び財源確保につながる取り組みの検討**
- 6 業務の目的・目標を明確にし、その達成に向けて創意工夫する職員を育成する
市民満足度を高めるため、職員の窓口対応力を向上する**

2. 目標達成の課題

- 1 地域包括ケア体制の強化**
 - ①見附市高齢者保健福祉計画・第10期介護保険計画の策定に向けた第9期計画の現状と課題分析、施設数・サービス量の見込量の把握
 - ② 災害時避難行動要支援者の避難体制の構築
 - ③ 医科診療所減少への対応
 - ④ 在宅医療・介護連携体制の推進
 - ⑤ 認知症とともに暮らせる社会の構築
- 2 障がい者支援の充実**
 - ① 次期障がい福祉計画の策定に向けた現計画の進捗確認・評価及び策定の方向性の検討
 - ② 相談支援事業の充実を図るため「基幹相談支援センター」設置の検討
 - ③ 公共施設のバリアフリー設備の再点検
- 3 地域共生社会の実現に向けた取り組みの推進**
 - ① 障がいを理由とする差別の解消に向けた市民周知等の実践
 - ② 認知症本人及びその家族も安心して暮らせる地域づくりの推進
 - ③ 複合的な課題を抱える世帯への支援体制の充実
- 4 SWC施策の維持・発展及び健康増進の充実**

健康づくり（こころの健康づくり含む）に対する無関心層、若年層への効果的な働きかけ
- 5 事務の効率化及び財源確保につながる取り組みの検討**

限られた財源の中で、高齢化の進展による社会保障経費の増加や新たな課題に対応するため、事務の効率化・財源確保が必要
- 6 業務の目的・目標を明確にし、その達成に向けて創意工夫する職員を育成する
市民満足度を高めるため、職員の窓口対応力を向上する**

職員の業務に対する取り組み姿勢の向上

3. 重点施策

1 地域包括ケア体制の強化

- ① 見附市高齢者保健福祉計画・第10期介護保険計画の策定
- ② 計画未策定の避難行動要支援者の個別避難計画の作成及び要支援者とその支援者を対象とした避難訓練の実施
- ③ 医科診療所の継続的な誘致活動の実施
- ④ 在宅医療・在宅介護の連携推進に向けた多職種連携・協働のための情報共有、研修会の実施
- ⑤-1 成年後見制度に係る「中核機関」の市民への周知と円滑な運営
- ⑤-2 地域コミュニティと連携した認知症行方不明者捜索模擬訓練の実施、チームオレンジの立ち上げと活動支援

2 障がい者支援の充実

- ① 第5期見附市障がい者計画・第8期障がい福祉計画・第4期障がい児福祉計画の策定
- ② 「基幹相談支援センター」設置に向けた事業形態の検討及び開設準備
- ③ 保健福祉センター周辺のバリアフリー設備の修繕

3 地域共生社会の実現に向けた取り組みの推進

- ① 「差別のない共生条例」の市民周知の拡充
- ② 「新しい認知症観」の理解を深めるための施策の推進、周知啓発
- ③ 重層的支援体制整備事業の着実な実施、多機関協働事業の連携体制強化

4 SWC施策の維持・発展及び健康増進の充実

- ・健康運動教室、健幸ポイント事業の新規参加の促進（若年層の取り込み）及び既存の取り組みの検証、見直しの検討
- ・「出張健幸フェスタ」など新たな健康づくり啓発イベントの実施
- ・自殺対策計画に基づく自殺予防対策、関係機関や地域・企業との連携
- ・家族の集まりを基軸としたひきこもり支援対策の推進。支援関係者との連携強化
- ・健診及び検診受診率・特定保健指導・重症化予防保健指導実施率の向上
- ・第3期データヘルス計画中間評価の実施

5 事務の効率化及び財源確保につながる取り組みの検討

- ・ICTを活用した事務の効率化、窓口業務のサービス向上の検討
- ・各種交付金の確保につながる取り組みの実施
- ・介護保険事業における「保健福祉事業」実施に向けての検討

6 業務の目的・目標を明確にし、その達成に向けて創意工夫する職員を育成する 市民満足度を高めるため、職員の窓口対応力を向上する

- ・日々のコミュニケーションを通じた、目的の明確化、創意工夫の促し
- ・業務知識の向上につながる研修会への参加、課・係内での知識の共有化

※ 記載は簡潔にお願いします。